

2025年9月12日

イベント通知

取り組み



世界中の学生が奏でる音が、夢洲で1つのメロディーに

e-Symphony in EXPO 2025

～Music Unites the World～

【9/27(土)18時～@フェスティバル・ステーション(大阪・関西万博会場)】

❖ 概要

大阪大学の学生団体「a-tune」(大阪大学2025年日本国際博覧会推進委員会学生部会所属)は、9月27日(土)18時から大阪・関西万博会場内の「フェスティバル・ステーション」にて、オンラインオーケストライベント「e-Symphony in EXPO 2025 ～Music Unites the World～」を開催します。

このイベントでは、遠く離れた場所にいる海外の学生とオンラインで接続し、大阪大学発のスタートアップ企業eMotto株式会社が開発した、「ParoTone」という電子楽器を用いて合奏を行うコンサートです。動画による参加者も含め、計30以上の国と地域から120名以上の海外学生が参加する、大阪・関西万博で行われるイベントの中でも屈指のグローバルなイベントです。プロジェクションマッピングによる演出も行き、世界中から届いた音が集まり1つになる瞬間を視覚的にもお楽しみいただけます。また、企画・運営から実際の演奏や技術面まで基本的に全て学生が行い、a-tuneの5年間の活動の集大成となります。

リモート会議やテレビ中継などで感じられるように、離れた場所から届く音には遅延が発生しますが、a-tuneは独自に開発した「同時再生スクリプト」を用いることで、遅延の軽減やタイミングの微調整を行い、音のずれや遅延を感じさせない演奏をお聴かせいたします。

つきましては、本イベントの積極的なご取材をお願い致します。(取材申込は3ページに記載のURLよりお願いいたします。)



昨年末に開催したオンラインオーケストライベント「e-Symphony for 2024 ～toGather～」

❖ イベント「e-Symphony in EXPO 2025 ～Music Unites the World～」概要

※イベント詳細は2ページ参照

【日時】9月27日(土) 18:00～20:00 (17:00 開場)

【場所】フェスティバル・ステーション(大阪・関西万博会場)

【演奏曲】 「この地球の続きを」 大阪・関西万博公式テーマソング
「Uni-Tunes」 a-tune オリジナル楽曲
「It's a small world」
「We Are the World」 等 8 曲

【入場料】 無料(ただし、大阪・関西万博会場への入場料およびチケットが別途必要となります)

【定員】 268 名(先着順での事前予約制)※満席のため予約受付は終了しております。

【参加申込】 取材していただけるメディアの皆さま向けのお席をご用意いたしますので、3 ページ「取材申込について」記載の URL よりお申し込みをお願いいたします。

※ただし、座席数が 24 席と限られておりますので、ご了承ください。

【協賛】

クラウドファンディング寄付者の皆様、サントリーホールディングス
株式会社、住友電気工業株式会社



【協力】

eMotto株式会社、株式会社シーマ、合同会社リコロボ、関西学院大学 アカデミックコモンズ・プロジェクト
プロジェクションマッピング制作プロジェクト SHADECOR、九州大学 大学院芸術工学研究院 准教授
河原一彦、九州大学 芸術工学部音響設計コース有志

【後援】

公益社団法人 2025 年日本国際博覧会協会

❖ 特記事項

取材に関しましては、写真や映像の撮影は 15:00~17:00(予定)に行うリハーサルで撮影いただきますようお願いいたします。※演奏やプロジェクションマッピングの投影などは本番と同様に行います。

本番中も写真の撮影は可能ですが、席の移動や立ち上がったの撮影はご遠慮願います。



❖ a-tune について

a-tune は、大阪大学の万博学生部会に所属する学生団体であり、大阪大学社会ソリューションイニシアティブ(SSI)の学生プロジェクトです。

2020 年に発足し、世界中の人々と関わる上で大きな壁となる言語の違いを越えられるコミュニケーションツールとして「音楽」を用いた国際交流を行っています。紛争や差別など分断の多い世界に対し、「各個人が自分とは異なる相手の立場、背景を尊重しあえる社会」を「UNITY」と定義し、その実現のために活動しています。

私たち a-tune の活動の中心となるオンラインオーケストラ「e-Symphony」は、遠く離れた場所にいる海外の学生とリアルタイムで接続し、スケジュールの合わない学生は事前に録音・録画することで多くの国の学生による合奏を実現します。演奏には大阪大学発のスタートアップ企業 eMotto 株式会社が開発した、音楽経験が無くても誰でも簡単に演奏できる工夫がなされている「ParoTone」という電子楽器を用います。

2022 年末には初のオンラインオーケストライベント「e-Symphony for 2022 ~first season~」

を大阪市中央公会堂で開催し、以来規模を拡大しながら開催してきました。

2024年に行ったクラウドファンディングでは、140名から目標の倍以上となる3,051,000円のご寄付をいただき、その他にも多くの方々に応援していただいています。

国際博覧会国際事務局(BIE)は、2000年以降の国際博覧会を地球規模の諸課題の出発点としました。これに対し、私たちは戦争などによって分断が溢れる社会を地球規模の諸課題であると捉えました。e-Symphonyを大阪・関西万博で開催することが、この課題の解決に向けた出発点となると考えます。

今回の「e-Symphony in EXPO 2025 ～Music Unites the World～」では30を超える国と地域から120名以上の海外学生がパフォーマンスに参加し、大阪・関西万博で行われるイベントの中でも関わる国の数がトップレベルで多いイベントを、学生の力で作り上げます。ParoToneの演奏に加えて、関西学院大学交響楽団や大阪音楽大学に所属する学生も演奏に参加し、関西学院大学のSHADECORが制作するプロジェクションマッピングで舞台の演出も行います。

大阪・関西万博という目標に向かって私たちa-tuneが約5年間活動してきた集大成であり、また、世界中の学生が音楽でつながり「UNITY」が実現した1つの形を示すパフォーマンスとなります。

世界中の学生が、万博という舞台上、音楽の力で繋がる瞬間を、取材・発信していただけると幸いです。

参考：a-tune 公式 HP <https://a-tune-unity.com/>



❖ アクセス

- ・大阪・関西万博会場(東ゲート)
大阪駅から大阪環状線(内回り)で弁天町駅へ。
中央線(夢洲行)に乗り換え夢洲駅へ。(約25分)
- ・フェスティバル・ステーション
東ゲートより徒歩10分。フランスパビリオン横。

❖ 取材申込について

※本イベントについてご取材いただける際は、イベント運営の関係上、9月25日(木)18時までに以下のURL及び添付のQRコードのWeb登録フォーム(Google Form)からご連絡をお願いします。
<https://forms.gle/wTTpf7zaG7BeW2Xn9>

